

科目名	衣装製作Ⅰ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	180	作成者	安田圭織
【科目の到達目標】 将来、舞台業界で活躍するために、自ら課題を発見し、解決に導く力、想像力、発想力、表現力を修得する。			
【科目の概要】 基礎的な舞台衣装製作の知識、技術を学ぶために実践実習を中心とする。 舞台上で必要とされる動きや用途に合わせて対応し、機能的で且つ、着装時に演者を美しく見せるためには、どのようなパターンを作成するのか。そのパターンを用いて実践する。衣装を作るまでに、動きを把握し、採寸、パターン、仮縫い、修正、縫製と実習。			
【授業計画】 90/コマ	前期	【授業計画】 90/コマ	後期
1.2	舞台衣装概論 ●基礎実習（ファスナー3種）	31.32	●基礎実習（縫代始末5種）
3.4	●基礎実習（襟2種）	33.34	●基礎実習（リボン2種）
5.6	〃	35.36	●早替えパンツ（パターン作成）
7.8	●パニエ製作（パターン・縫製）	37.38	〃・パターン（特殊機能の構造）
9.10.	〃	39.40.	〃・縫製
11.12	●外部コラボオリジナル作品（デザイン企画・パターン作成）	41.42	●全身タイツ（パターン作成）
13.14	〃 ・パターン作成	43.44	〃・パターン
15.16	〃 ・パターン作成	45.46	〃・縫製（ニット素材の扱い）
17.18	〃 ・パターンチェック検討 縫製	47.48	●外部コラボオリジナル作品（デザイン企画・パターン作成）
19.20.	〃 ・縫製	49.50.	〃・パターン作成
21.22	〃	51.52	〃・パターンチェック検討 縫製
23.24	〃	53.54	〃・縫製
25.26	〃	55.56	〃
27.28	〃	57.58	〃
29.30.	まとめ	59.60.	〃
		61.62	〃
		63.64	〃
		65.66	〃
		67.68	〃
		69.70.	〃
		71.72	〃
		73.74	〃
		75.76	〃
		77.78	〃
		79.80.	〃
		81.82	〃
		83.84	〃
		85.86	〃
		87.88	〃
		89.90.	まとめ
【成績評価方法】 提出課題（的確さ、完成度）70% 授業への取り組み態度20% 試験10% 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する			
【教科書・参考書】 メンズ教科書 各テクニック教科書、配布プリント等			
【教材・教具】 プリント配布 製図用具 縫製用具			

科目名	衣装制作 I-B	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	30	作成者	木村章子

【科目の到達目標】

バレエ衣装の構造を理解し、ベーシックなクラシックチュチュの製作方法を修得する。
激しい動きに耐えられる造り・縫製や踊りを妨げないデザイン・シルエットの考え方、着る人の身体にぴったり合うサイズで作ることの重要性を理解した上で作品を製作する。

【科目の概要】

世界各地・日本全国でそれぞれ独自の製作方法が発展しているバレエ衣装の現状や課題などを紹介しながら、様々な製作方法のうち、1つの手法をベースに授業を展開する。

提出作品として、プロ仕様の縫製にこだわったクラシックチュチュを製作。

「踊る時に着用する衣装」として、「丈夫であること」「サイズ(フィット感)」「振付・動きを妨げないシルエット」など、バレエ衣装に必要な仕様上の制約を踏まえた作品であることを、最終的な評価基準としたい。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 **オリエンテーション**
 バレエ衣装の構造解説
 提出作品
 身頃パターン製作
- 2 パンツ・ペプラムパターン製作1
- 3 パンツパターン製作2／身頃・ペプラム裁断
- 4 身頃縫製1／チュール裁断
- 5 身頃縫製2／ペプラム縫製／チュール縫製・タック寄せ
- 6 パンツ裁断・しるし付け・縫製
- 7 チュール付け1／オーバースカート1
- 8 チュール付け2
- 9 チュール付け3、パンツ仕上げ
- 10 身頃・ペプラムCB処理、仕上げ
- 11 チュチュ留め／オーバースカート2
- 12 チュチュと身頃を合体・細部始末
- 13 仕上げ・装飾
- 14 まとめ
 ↓
- 15

【成績評価方法】

提出物の評価 70%、 修了レポート(期末試験) 10%、 授業態度 20%

【教科書・参考書】

オリジナル教材配布

【教材・教具】

筆記用具、製図用具一式、分度器、メンディングテープ、紙用はさみ / 洋裁道具一式、ミシン用品、タオル、アイシーテープ、ルレット、両面チャコペーパー / バイヤステープ、平ゴム(ページュ)、スプリングホックNo.3 / ツイル、シヤンタン、チュールなど作品制作材料

科目名	クリエイションテクニック	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義20 % 実習80 %
時間数	90	作成者	安田 圭織

【科目の到達目標】

レディスウエアの基本アイテムであるシャツ、ジャケットにより作品の構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。
また、企業研究に基づいた、各企業に提案出来る創作作品を製作する。

【科目の概要】

ファッション業界において商品企画をする為に洋服の構造を理解することは不可欠である。企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。また、レディスウエアの基本アイテムであるテーラードカラージャケット(チェック柄)、シャツによりアイテムの構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。

【授業計画】 90分/コマ	前期	【授業計画】 90分/コマ	後期
1	RTWシャツ(プレタポルテ展示会)	31	テーラードジャケット(チェック柄)
2	〃	32	〃
3	〃	33	〃
4	〃	34	〃
5	〃	35	〃
6	〃	36	〃
7	〃	37	〃
8	〃	38	〃
9	〃	39	〃
10	〃	40	〃
11	〃	41	〃
12	〃	42	〃
13	テーラードジャケット(チェック柄)	43	〃
14	〃 パターントレース	44	〃
15	〃 柄合わせ裁断・縫製	45	まとめ
16	〃		
17	〃		
18	〃		
19	〃		
20	〃		
21	〃		
22	〃		
23	〃		
24	〃		
25	〃		
26	〃		
27	〃		
28	〃		
29	まとめ		
30	〃		

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版 オリジナルプリント、実物及び、部分縫い見本
『ブラウス』『ジャケット』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式、

科目名	パターンメイキングⅡ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習 80%
時間数	120	作成者	上田安子パターン担当

【科目の到達目標】

理論を技術に結びつける。アイテムのパターンをデザイン画を見て表現できるようになる

【科目の概要】

時代のデジタル化に伴い、ファッション業界におけるパターン分野では3DやCADの多様化が進んでいる。しかしパターンの基礎・応用が確立した上でのデジタル化が必要不可欠である。この科目では原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。

【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1	(1/2)バギー・ベルボトム	31	(1/2)身頃続きの袖(マチ)三角マチ、ひし形マチ、五角マチ
2	(1/2)ペグトップパンツ・フレアーパンツ	32	(1/2)どれか1型トワール組み
3	スラックスパターン作成(自分サイズ)	33	ビーチウェア
4	デザインパンツ 製図	34	トワール組(中縫いミシン)補正後、工業パターン作り
5	トワール組み(両身) グループ検討会	35	スカートのバリエーション 作図
6		36	
7	ダーツ操作のバリエーション(実寸) エスト2型・センター ゴージ・ショルダー・アームホール	37	トワール組み
8		38	
9		39	工業パターン作成・仕様書作成
10		40	
11	襟のバリエーション スタンドカラー2種 シャツ・台襟シャツ ラットカラー・ステンカラー	41	身幅の移動OP増量→JK、COへ モノ袖原型→カット無しへ(どちらかトワール検討)
12		42	
13		43	メンズシャツ 製図
14		44	パーツパターン抜き出し
15	袖山高さのバリエーション 作図+トワール	45	トワール組み
16	袖山高さのバリエーション 検討会	46	
17	袖のバリエーション タック・フレアー・ランタン ペタル・ジゴ	47	子供服 子供ワンピース
18		48	トワール組み
19		49	ジーンズ 製図
20		50	パーツパターン抜き出し
21	創作ブラウス 製図	51	トワール組み
22	ダーツ操作身頃+襟+袖 組み合わせ	52	
23	トワール組	53	工業パターン作成・仕様書作成
24		54	
25	工業パターン、仕様書作成	55	マウンテンパーカー
26		56	
27	Tシャツ 製図	57	トワール組み
28	縫い代付きパターン・仕様書作成	58	
29	BEACH WEAR 製図+抜き出しパターン	59	まとめ
30	まとめ	60	

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

服飾手帖社『パターンメイキングⅡ』
山路俊美 『メンズ製図集抜粋』 配布プリント

【教材・教具】

筆記用具、製図用具、模造紙、製図用シャープペンシル カッター、メンディングテープ、ドラフトテープ
トワール、シルクピン、ミシン用具、鋏

科目名	和装演習	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	60	作成者	長谷川順子

【科目の到達目標】

浴衣を作ることで着物の構造を理解し、和裁の基礎となる“素材を傷めず早くてきれいな手縫いの技術”を習得する。

【科目の概要】

和装はテレビや舞台でも需要が増えているため、着物を扱えることが重要となっています。

1本の反物から1枚の着物に仕立てられる、無駄のない和裁の技術を知り、寸法や柄合わせを確認しながら縫いすすめる。

仕上がった浴衣で着付けの技術も学ぶことにより、全ての工程に意味があることを知る。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 和裁の基礎知識
 - ・布の扱い方(運針、くけ、印の付け方、キセのかけかた)
 - ・縫製順序説明
- 2 運針、くけ練習
 - ・腰紐を作って運針練習
 - ・くけ練習
- 3 腰紐完成
 - ・キセをかける
- 4 寸法記入、見積もり
- 5,6 裁断
 - ・柄の配置を考える
- 7 印付け
- 8,9 袖
- 10 見頃内揚げ、背縫い
- 11,12 脇縫い、脇くけ
- 13 衽印
- 14,15 衽付け、衽くけ
- 16 立衽、裾くけ
- 17 衿のながれ、コテ仕上げ
- 18,19 衿作成、力布
- 20,21 衿付け
- 22,23 衿くけ
- 24 袖付け
- 25 虫止め、袖くけ
- 26 仕上げ
 - ・コテ仕上げ、アイロン仕上げ、たたみ方
- 27 浴衣の着付け(腰紐3本、タオル3枚持参)
 - ・タオルで補正、浴衣を着る
- 28 浴衣の着付け、帯結び(腰紐3本、タオル3枚、帯板持参)※帯板はベルト付きがおすすめ
 - ・タオルで補正→浴衣着付け→半幅帯
- 29 浴衣着付け復習
- 30 前期試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

社団法人 日本和裁士会 『新版 和服裁縫 上巻』 平成7年4月1日15版

教員オリジナル配布プリント

【教材・教具】

浴衣反物、半幅帯、裁ちばさみ、糸切りバサミ、縫い針、まち針、指ぬき、チャコ、手縫い糸

科目名	ファッションドローイングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	松岡葵

【科目の到達目標】

半年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1	ヌードボディの表現	16	メンズ表現①（着装、着色）
2	ヌードボディの表現	17	メンズ表現②（着装、着色）
3	顔、ヘアスタイル表現①	18	キッズ表現①（着装、着色）
4	顔、ヘアスタイル表現②	19	キッズ表現②（着装、着色）
5	着装表現①（男性的ディテール表現）	20	手、足、靴表現（着色）
6	着装表現①（男性的ディテール表現）	21	手、足、靴表現（着色）
7	着装表現②（女性的ディテール表現）	22	手、足、靴表現（着色）
8	着装表現②（女性的ディテール表現）	23	角度のある顔、ヘアスタイル表現
9	着色表現①（その他応用表現）	24	アイテム画表現
10	着色表現②（その他応用表現）	25	アイテム画表現
11	デザイン画選手権の作品制作（ラフ）	26	就職に向けてのデザイン画制作（ラフ）
12	デザイン画選手権の作品制作（下絵）	27	就職に向けてのデザイン画制作（下絵）
13	デザイン画選手権の作品製作（着色）	28	就職に向けてのデザイン画制作（着色）
14	デザイン画選手権の作品製作（着色）	29	就職に向けてのデザイン画制作（着色）
15	前期末テスト	30	後期末テスト

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年
NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

【教材・教具】

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

科目名	衣装デザインⅠ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	於保 可那子

【科目の到達目標】

クライアントの意図を読み取り、デザインを提案、イメージをきちんと可視化し伝えることができるようになる。

またデザインするものにも意図を持たせ、説得力のあるデザインとは何かを考えることを意識させる。

時間感覚を身につけ、その中でできるハイクオリティとは何かを考察し、まとめあげる習慣をつける。

【科目の概要】

伝統を守りながらも、新しさが要求されるエンターテインメントの世界で何を残し、新たなクリエイションを加えるかを考える。

ただし、リアルな現場での実践的実習になるので、クライアントの求めるものを読み取る力、時間内・予算内に

収めるために工夫し、アイデアを出すことができるように指導していく。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1-2	オリエンテーション	31-32	上コレデザイン①
3-4	プレタシャツデザイン①	33-34	上コレデザイン②
5-6	プレタシャツデザイン②	35-36	上コレデザイン③
7-8	プレタシャツデザイン③	37-38	衣装デザイン 演習Ⅰ①
9-10	デザインワークⅠ①	39-40	衣装デザイン 演習Ⅰ②
11-12	デザインワークⅠ②	41-42	衣装デザイン 演習Ⅰ③
13-14	デザインワークⅠ③	43-44	衣装デザイン 演習Ⅰ④
15-16	デザインワークⅠ④	45-46	プレタ展ブランディング①
17-18	デザインワークⅠ⑤	47-48	プレタ展ブランディング②
19-20	アイドル衣装 デザインワーク①	49-50	プレタ展ブランディング③
21-22	アイドル衣装 デザインワーク②	51-52	プレタ展ブランディング④
23-24	アイドル衣装 デザインワーク③	53-54	衣装デザイン 演習Ⅱ①
25-26	アイドル衣装 デザインワーク④	55-56	衣装デザイン 演習Ⅱ②
27-28	アイドル衣装 デザインワーク⑤	57-58	衣装デザイン 演習Ⅱ③
29-30	まとめ	59-60	まとめ

【成績評価方法】

提出物評価60% プレゼンテーション20% 授業態度20%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具・のり・はさみ・各自参考資料・画材

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【科目の到達目標】

市場動向を読み取り、デザインにあった素材選びのできるスペシャリストを目指す。
 アパレル素材の役割を理解、繊維特性、布地の構造による機能の違いなど専門知識を修得する。

【科目の概要】

ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。
 講義を通じてさまざまな繊維の機能性、加工による付加価値を理解。さらに布地構造による基本特性を把握し、
 アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
 ■アパレル製品の生産流通経路(1)
 繊維・糸・布地
- 2 ■アパレル製品の生産流通経路(2)
 メーカー、産地など
- 3 ■布地の種類
- 4 織物
- 5 編物
- 6 レース
 布地まとめ
- 7 ■家庭用品品質表示法 品質表示の見方
- 8 ■繊維の種類と特性
 天然繊維(植物繊維)
- 9 天然繊維(動物繊維)
- 10 化学繊維(再生繊維・半合成繊維)
- 11 化学繊維(合成繊維)
- 12 ■繊維の機能性
- 13 ■糸の種類と太さ
- 14 まとめ(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

提出物評価40% テスト50%(期末試験40%, 小テスト 10%) 授業態度10%

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』,ファッション教育社, 2012年
- ・田中道一、『生地の事典』,株式会社みずしま加工, 2013年

【教材・教具】

- ・筆記用具

科目名	服飾史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実習 20%
時間数	30	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

- ・時代背景や世界情勢によって影響を受け変化するトレンドの流れを理解する。
- ・時代によって生み出された技法やシルエット、ディテールの変遷を学び、服飾デザインの基礎知識を習得する。

【科目の概要】

服飾の起源から現代にまで繋がる服飾デザインの変換を図版、絵画、写真、映画などのヴィジュアル資料から学んでゆく。

90分/コマ	後期
1	ガイダンス
2	【導入】現代の情勢と服飾トレンドの変化 古代ローマ～ビザンチン時代
3	ルネサンスの始まり
4	バロック時代:エリザベス I 世
5	ロココ時代:マリーアントワネット:革命と失脚
6	ナポレオンの登場と19世紀ドレスの変容
7	復習・小テスト
8	オートクチュールの始まり ウォルト・ポールポワレ・シャネル
9	19～20世紀 フランス:オートクチュールからプレタポルテ
10	19～20世紀 イタリア:GUCCIとハイブランドの変遷
11	19～20世紀 ロンドン:パンクムーブメント
12	19～20世紀 アメリカ:ストリートとカウンターカルチャー
13	20世紀 日本国内のトレンド:DCブランド～KAWAIIカルチャー
14	まとめ・復習
15	テスト

【成績評価方法】

課題評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

教科書「西洋服飾史」

科目名	コンピュータ演習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートオートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	30	作成者	林 和子

【科目の到達目標】

パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識を身につける。Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使しポートフォリオが作成できる。
 アパレルCADを利用したパターンを作図する方法を理解する。

【科目の概要】

情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。
 このコンピュータ演習授業では様々な情報から役立つものを見つけ、価値を明確にし、
 使いやすく加工して活用する一連の知識や技術を修得する。

【授業計画】

90分/コマ

1	自己PRシート作成(写真を撮影し画像処理)
2	” ロゴマーク作成
3	ポートフォリオ作成 ポートフォリオの考え方(要素・機能・効果)
4	” スキャナーなどからの画像の取り込み方(画像解像度を理解する)
5	” レイアウトの基礎マップ作成 Photoshopを使った画像合成
6	” ハンガーイラストの描き方 Illustratorを使ったペンツールなどのテクニック
7	” デザイン画の着色方法 線画に着色、柄を作成し着彩する
8	” Photoshop作成画像をIllustratorでレイアウトしポートフォリオを完成する
9	CAD ↓ タイトスカート パターン作成(Pattern Magic) ハンガーイラスト作成(縫製仕様書) タイトスカート2本ダーツ製図 表地工業用パターン作成 裏地工業用パターン作成 マーキング(Marker Magic) 仕様書指示書作成
10	
11	
12	
13	
14	まとめ
15	テスト

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%
 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

コンピュータ演習*アパレルCAD*

【教材・教具】

プリント配布 データ配布 フラッシュメモリ 筆記用具

科目名	ドレーピングⅠ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	上田安子パターン担当
【科目の到達目標】			
ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに出来る。			
【科目の概要】			
立体製図(ドレーピング)技術を習得することで、今日アパレルメーカーで求められるスピード感や、新しい素材や難しいデザインに対応出来るスキルを獲得する。凸凹のある女性の体(ボディ)に布地(トワール)を合わせてゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作る技術、およびこれを平面パターンにする方法を学ぶ。			
【授業計画】		後期	
90分/コマ			
1、2	「ドレーピング概論」 ・ボディ、トワールの扱い方の講義		
3、4	ショルダーカット(ダーツ)		
5、6	アームホールカット(ダーツ)		
7、8	サイドカット(ダーツ)		
9、10	ウエストカット(ダーツ)		
11	ステンカラー カットで作った身頃を使用		
12	ピーターパンカラー カットで作った身頃を使用		
13	台襟付きシャツカラー カットで作った身頃を使用		
14	開襟シャツカラー カットで作った身頃を使用		
15、16	タイトスカート		
17	タイトスカートのパターンどり		
18	フレアースカートの製作		
19、20	ブラウス シャツカラー(ショルダー切替)		
21、22	シャツカラー(上記のブラウス)		
23、24	一枚袖(上記のブラウス)		
25、26	身頃の復習(ダーツ)		
27、28	まとめ		
29、30	前期試験		
【成績評価方法】			
課題作品の評価 60% 期末試験 30%・・・評価シートによる 授業研究態度 10%			
【教科書・参考書】			
ドレーピング教科書 オリジナルプリント			
【教材・教具】			
トワール、シルクピン、黒綿テープ、アイシーテープ、はさみ、メンディングテープ、カッター、製図道具、模造紙、製図用シャープペンシル			

科目名	キャリアデザイン	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートオートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

クリエイター学科が目指す卒業後の進路・就職先の獲得と卒業後のスキルアップの方法を修得。

【科目の概要】

アパレル業界を中心とした川上・川中・川下の理解と社会人としての基本マナーの習得、就職活動の方法や面接、グループディスカッションの技術を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 就職先となる業界の現状把握(A先生)
- 2 就職活動までに準備すべき内容(B先生)
- 3 ポートフォリオの制作方法(B先生)
- 4 企業分析の方法と対策(C先生)
- 5 インターンシップの活用方法(C先生)
- 6 エントリーシートの記入方法(C先生)
- 7 自己PRと志望動機のポイント(C先生)
- 8 個別面接対策(C先生)
- 9 グループディスカッション(C先生)
- 10 卒業後のスキルアップ(C先生)
- 11 社会人マナー①(D先生)
- 12 社会人マナー②(D先生)
- 13 社会人マナー③(D先生)
- 14 社会人マナー④(D先生)
- 15 キャリアサポートセンターの活用方法(A先生)

【成績評価方法】

提出物評価90% 授業態度10%

【教科書・参考書】

「キャリアテキスト」株式会社パーソナルヴィジョン研究所

【教材・教具】

筆記用具、参考プリント